

# たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育総務課 令和元年 12月 16日発行



## ～ 学校支援地域本部事業紹介 ～

滝川第三小学校 3年生 食育授業  
 滝川果樹協会 会長 伊藤 公一さん  
 全てが 手作業



甘みと酸味が絶妙なバランス

## 滝川産の美味しいりんご

## 【実践例紹介】

私は、岩手県で  
開発された  
「ひめかみ」  
という名前の  
品種です。  
よろしくね！



引き続き今回も、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てるよう「地域とともにある学校づくり」を進める「コミュニティ・スクール」の実践例を紹介します。

11月7日(木)、滝川市立滝川第三小学校の3年生は、池田明美栄養教諭による食育授業で滝川果樹協会 会長 伊藤公一さんから「滝川産のりんご🍏」について色々なことを教えていただきました。



滝川市立滝川第三小学校

滝川産の食材が、給食でたくさん使われています。その中で、今日の課題は、「りんごのひみつをしよう」です。

教室には、12種類の可愛いりんごが用意されていました。

始めに、子どもたちは、池田明美栄養教諭から、「りんごは、血圧を下げたり、お腹の調子を整えたりする。」働きがあることを学びました。



池田明美栄養教諭

次に、りんごの花当てクイズが行われました。

正解は、3番でしたが、子どもたちは、バナナの花の回答が意外と多かったよ。



りんごのひみつがたくさんわかりましたね。特に、機械でできる作業がなく、すべて手作業というお話を伺いました。農家の皆さんが手間暇かけ、愛情をたくさん注いでくださったりんごです。しっかり味わって食べましょうね。🍏



葛西 壽校長・澤口純一教頭

その後、**滝川果樹協会 会長 伊藤公一さん**からりんごの生育について、写真を使用しながら説明していただきました。

**りんごの生育の様子**



① 剪定する



② 受粉する

① いらぬ枝を落とす

② 蜂による自然受粉



③ 実の選別



⑤ 玉回し

③ 必要な実を残す

⑤ 太陽の光が当たるようにりんごを回す

④ 枝・葉の整理



⑥ 収穫する



⑥ 熟したりんごのみ収穫 **真剣に聞く子どもたち**

雪解けから、1600本の木を1本1本剪定したり、1本の木から90個～100個実るように選別したりします。

また、りんごに太陽の光が当たるように枝や葉を整理したり、りんごを回したり、1本の木を3回に分けて収穫したりします。

いつも、美味しいりんごになることを祈りながら、育てています。「おいしい!」と言って食べてもらえるのが、一番うれしいです。



**伊藤公一さん**

説明後のクイズタイムでは、「選別前の1本の木になるリンゴの実は何個?」の問いに、なんと! 「800個～1000個」という伊藤さんの答えに、「えーっ!!」という驚きの声と「選ばれし、りんご!」と思わず叫んだ子がいました。

**伊藤さん**は、「大きくなれなかったりんごがたくさんいることを覚えてほしい。」と話されると、



「ちゃんと食べてあげないとかわいそうだね。」と子どもたちは優しく受け止めていました。授業最後に、一生懸命感想を書く子どもたちの姿からも、伊藤さんの思いが伝わったように思います。

りんごが、こんなに大変な作業だとは、知りませんでした。感謝の気持ちを忘れずに食べたいと思います。



**子どもたちの感想発表**

**【授業終了後の子どもたちの感想】 抜粋**

- 全てが手作業とわかりすごかった。
- 給食のりんごをしっかりと食べようと思った。
- りんごを作る時に、すごく大変なことが分かった。こんなに大変な作業をしているとは、思わなかった。

この授業を通して、子どもたちはりんごの体の中での働きや、商品として店に並ぶまでの生産者の皆さんの予想を超えたご苦労があることを学びました。この日は、給食のりんごを子どもたち全員が、感謝の気持ちを持って笑顔で食べていました。